

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族会を設け、意見や要望を引き出す工夫を検討し、それらの意見を運営に反映させる努力をしてほしい。	家族の来訪時にできるだけ声をかけ、意見や不満を表せる雰囲気づくりに努めている。	職員で話し合い家族会の開催時期を検討して家族会を設け意見や要望を引き出して、運営に反映していく。	3ヶ月
2	6	玄関は自由に利用者が出入りできるようにしている。外門は国道沿いで、交通量が多い為に、利用者の安全面を考え鍵をしている日がある。	見守りを重視した取り組みで、日中は玄関は鍵をかけていない。国道沿いのために、外門は安全確保の観点から鍵をかけることもある。職員は身体拘束の弊害を充分理解している。	病院受診時、ドライブ、散歩等で外出時には、出きるだけ門を開ける努力をする。しかし、利用者の不穏の状態によっては安全面を考えれば難しい時もあるが、鍵をかけないケアの取り組みの努力をしていく。	3ヶ月
3	40	食事が楽しいものになるように、食卓を囲んで、同じものを職員と一緒に味わいながら食べることが出来ないか、検討する。	検食者が利用者と同じものを食べている。食材によって、あまった物は、他の職員も食べていて、利用者と一緒に楽しみながら昼食をとっている。	利用者と同じものを職員も食べることにより、話題も広がり、食事が楽しくなり良いと思うので、昼食代金を支払うような形で検討する努力をしていきたい。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。